

第3回小田原市市民活動推進委員会 会議録

1 日 時：平成24年2月15日（水）13時30分～15時40分

2 場 所：小田原市役所 601 会議室

3 出席者：前田委員長、工藤副委員長、秋本委員、有賀委員、石川委員、川久保委員、神保委員、神馬委員、二見委員、穂坂委員

事務局：山崎地域政策課長、小川係長、鈴木主査、小澤主任

4 配布資料：・次第

- ・資料1 （非公開）
- ・資料2 （非公開）
- ・資料3-1 （非公開）
- ・資料3-2 （非公開）
- ・資料4 （非公開）
- ・資料5 小田原市市民活動推進条例施行規則
- ・第5期小田原市市民活動推進委員会委員名簿
- ・[参考]（前回(10/21)資料9）第5期市民活動推進委員会の調査・研究テーマ（案）
- ・第5期小田原市市民活動推進委員会スケジュール（案）
- ・市民活動応援補助金アンケート①
- ・サポセン通信（冬号）
- ・市民活動団体ガイドブック

5 会議内容

■ 開会

委員長：ただいまから、第3回小田原市市民活動推進委員会を開会する。この委員会については公開が原則だが、議題1「平成24年度市民活動応援補助金第1次審査」及び議題2「行政提案型協働事業について」は、それぞれ市民活動応援補助金の書類審査及び行政提案型協働事業の事業テーマを報告するにあたり、市民の間に不当な影響が生じないようにし、かつ特定のものに不当な利益又は不利益を与えないようにするため、小田原市情報公開条例第24条第3項に基づき非公開とさせていただきますので、御了解いただきたい。

議事に入る前に、事務局から配布資料の確認をお願いする。

（事務局 配布資料の確認）

■ 議題（１）平成 24 年度市民活動応援補助金第 1 次審査について

非公開

■ 議題（２）行政提案型協働事業について

非公開

■ その他

※ 1 調査・研究テーマについて

※ 2 市民活動応援補助金アンケートについて

委員長：議題の「その他」に入る。本来、調査・研究テーマは重要な議題であるが、本日は応援補助金がメインの議題ということで、「その他」として事務局から今後の進め方を含めて説明をお願いする。

（事務局 説明）

※ 1 調査・研究テーマについて

- ・ 第 2 回委員会での協議内容の確認
- ・ 第 5 期委員会スケジュール(案)の説明

※ 2 市民活動応援補助金アンケートについて

- ・ 〔市民活動応援補助金アンケート①〕の作成依頼

委員長：今日は基本的には説明及びお願いということで、4 月以降の委員会で時間をかけて議論したい。その叩き台としてこのアンケートについても御協力をお願いする。また、先ほど指名された部会委員の方には恐縮だが、委員会と同日に部会を開催させていただくので、よろしく願いしたい。

質問等があればお願いしたい。

委員：スケジュールの備考にある「協働推進に向けた委員提言」というものの具体的なイメージを詳しく教えてほしい。

事務局：お配りした第 2 回会議の資料 9 を御覧いただきたい。協働については、第 3 期、第 4 期の委員会から検討を進めているテーマであり、これに基づいて行政提案型協働事業を実施したり、市民提案型協働事業を進めていこうと計画している。しかし、協働による行政運営や新しい公共の推進は命題にはなっているが、課題も多いのが現状である。そこで「協働に関するガイドライン」を作成したいと考えている。作成にあたり、委員の皆さんからの御提言などもいただきながら、協働に関わる方々への周知だったり、我々の拠り所としたりとか、そのようなものとしてつくりあげていく必要があると思ってい

る。

あとはその肉付けの部分として、具体的にこういったものをしてもらいたいとかの皆様から御意見をいただきながら施策に厚みを持たせていきたい。また、行政として事業を継続する上での参考にさせていただきたい。それらの意見は、この第5期委員会の最終報告書の中に盛り込んでいきたい。

委員長：このガイドラインはイメージしづらい。参考として、目次のようなものを配布してもらえればイメージし易い。次回は第2次審査だが、そのときにいただければ次々回の議論にスムーズに入れると思う。既に他市で作っているところもあると思うが、今はどのようなところを参考にしているか。

事務局：以前、委員長から川崎市の取り組みをご紹介いただいたが、それらも参考にさせていただきたい。

委員：報告会についてお尋ねするが、この委員会に対しての報告ということでよろしいか。

委員長：それも含めてこれから検討する。これは公開か。

事務局：公開を前提に考えている。

委員：以前も公開でやっていたようだが。

委員長：以前は、委員が全員出席するという前提のものではなかった。今回の募集では、公開報告会で報告していただくと明記してあるか。

事務局：今回（平成24年度）の募集要項には入っているが、前回（平成23年度）のものには入っていないので、今年実施の場合には団体側にお願いをする必要がある。

委員長：募集時に要件にしていらないので、可能なかぎりお願いするということで今回は任意参加にならざるを得ない。単に1年間の成果を報告するだけでなく、より多くの市民や団体の方にも聞いていただいて、今後の市民活動の発展に資したいということで、ぜひ1団体でも多くの方をお願いしたい。まだ細かいところは決まっていないので、アンケートでいろいろと御提案いただき、取り入れられるところは取り入れていきたい。問題は、公開にしたときにどのくらいの方に来ていただけるかということである。話は戻るが、来月の公開プレゼンテーションも残念ながら発表される団体の方はいらっしゃるが、一般聴衆の方が極めて少ないので、これも懸案となっている。

委員：関係ないこととは思いますが、それは聞きに行っても聴衆票があるわけでもなく、面白くない、楽しみがないということで来ないという意見は聞いている。

委員長：一般聴衆の方を公開プレゼンにおいても増やしていくことは、今後の検討課題である。

委員：アンケート中の報告会の開催方法について、「対象団体（全部・一部）」とあるのは、

昨年度の対象の分となるので全部には難しいと思う。

事務局：この「全部・一部」とは、11 事業全部を対象にするのか、そのうちの3つでも4つでもピックアップしてやっていくのかという意味の「全部・一部」である。

委員長：今度は全部という結論が出ても、先ほど説明があったように、最初からそれを要件にしていないので、お越しいただけるかどうかは任意とせざるを得ない。

委員：先ほどのガイドラインの件だが、目次を提出されるということで大変助かるが、小田原市にはたくさんの協働事業がある。その事業体系の中で今回のガイドラインはどこに位置するのかを教えてください。広報等を見ると、いろいろなところで市民力に関する事業が紹介されているが、それらが入り組んでいてどのような体系が見えにくい。それがあるとわかりやすい。

委員長：その辺、実は難しいところがあり、それが分かりづらいからガイドラインを作るという側面も大きい。今、委員が言われたような資料がすぐに出せるか。

事務局：協働はそれ単独で事業体系となっているのではなく、いろいろな事業に関連していることから、全体の中のどこに位置づけるのか非常に表現がしづらい。できる範囲で対応させていただきたい。

副委員長：小田原市の補助事業や指定管理者について、ホームページで検索をしても分からない。行政に近いところでの活動をなさる方もいるが、そのような情報が外に出にくい。協働は市民力を活かすということで必要だが、そのような資料が一般市民の共通の情報になっていることが協働を進めていくうえで一番大事である。

事務局：指定管理者については、オープンにさせていただいている。

委員長：今後も公開できるものについては極力お願いしたい。

他になれば、アンケートをお書きいただきながら御不明な点は随時お出しいただくことにする。

また、次々回に協働推進に向けた委員提言ということで、2名の方をお願いしたいと思う。事前に御内諾をいただいております、工藤副委員長と神馬委員に御報告をお願いします。
⇒全委員了承

委員長：本日予定していた議事はすべて終了した。その他に事務局からあればお願いします。

(事務局 説明)

- ・第一次審査結果の取扱い
- ・サポセン通信 [冬号]
- ・市民活動団体ガイドブック

・第2回小田原市市民活動推進委員会会議録

委員長：全体を通して委員の皆様から何か質問あるか

副委員長：私が以前に第二次審査の公開プレゼンテーションに参加した経験では、審査員の方はコメントや質問を分担されているのではないかという印象もあったが、質問はその場で発言したい委員が発言するということによいか。

委員長：分担していた時期もあったが、この数年はやめている。先ほどの図でテーブルが「V」の字になっていたが、一番右端に私が座り、皆さんを見ながら質問を求め、挙手をした委員を指名している。私が委員長を務めた最初の年は分担制になっていたが、その場で質問をするように提案して変更した。分担していたときは、一団体ごとに発表と質問をしていたが、時間の関係もあり、幾つかの事業をまとめて発表してもらうことで、聞きたい団体に多く時間を割けるように変更した。回答者に対しても、長くなった場合は手短な発言をお願いしている。

他に質問はあるか。

各委員：特になし

委員長：それでは、これをもって第3回小田原市市民活動推進委員会を終了する。